

分科会名称：瞳輝くウエルビーイング分科会

社会課題分野：ヘルスケア

**取り組み内容：眼科を中心としたデジタルヘルスビッグデータによる
幸福なライフスタイルの社会実装を行う**

リーダー機関：東北大学

—代表者 永富 良— 拠点長

—リーダー 中澤 徹 教授

<http://promo-innov.tohoku.ac.jp/dfhi/index.html>

我々が目指す将来社会像



現在は身体機能差が
人と社会との繋がり（暮らし、仕事、
娯楽）を分断している



- ・身体機能や老化/疾患に活躍の場が縛られる
- ・後手に回るヘルスケア
- ・診断技術だけでは分断が加速する

コロナ禍が分断に拍車をかけている

誰もが人生のどのステージでも、共に
暮らし、働き、遊べる社会



- ・情報障がい者ゼロ
- ・気づきと身体拡張技術のインフラ化
- ・自発的な行動変容

日常的な行動変容による機能維持と、インクルーシブな社会のデザインが必要



瞳輝く喜びの街の実現

～誰もが人生のどのステージでも、共に暮らし、働き、遊べる社会～



THE GLOBAL GOALS

3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国々の不平等をなくせよ
11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう



① Team 1 こせいをいかす：ロービジョン者のエンパワメント

知覚の障害や衰えがあっても自立でき、社会に貢献することでQOLを高めながら、人と社会とつながる

アカデミア：高橋政代教授（立命館大学・神戸アイセンター）

② Team 2 みらいもなおす：未病者のエンパワメント

知覚の情報から将来の疾患を予測、フレイルから遠ざけることでQOLを維持し、人と社会とつながる

参画企業：あっと株式会社、千寿製薬株式会社

アカデミア：中澤徹教授（東北大学医学系研究科眼科）、
寶澤篤教授（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

③ Team 3 わたしをかえる：健常者のエンパワメント

知覚を通じたモチベーション向上とコミュニケーション促進によりQOLを高め、人と社会とつながる

参画企業：ロート製薬株式会社、株式会社わかさ生活

アカデミア：永富良一教授（東北大学医工学研究科）、未来社会健康デザイン拠点



2022

2023

2024

2025

2026

Team 1 こせいをいかす：
ロービジョン者のエンパワメント

ロービジョン者への情報提供する
モデル作り

ロービジョン者をモデルとした情報提
供システム化と普及

Team 2 未来もなおす：
未病者のエンパワメント

眼から様々な生体情報収集のための
センシングシステム開発とデータ収集

マルチモーダルなデータ統合解析による疾患予測
精度向上とエビデンス構築

Team 3 わたしをかえる：
健常者のエンパワメント

知覚を活用した潜在能力やコミュニケーション向上
に向けたアプローチ手法の開発

知覚を活用したパフォーマンス向上
行動変容促進ソリューションの検証